

スタンダード版

全般的機能

- Windows® デスクトップ、UNIX®/Linux® や Windows サーバ、IBM® System z プラットフォームとの、データの可搬性と相互運用性を実現
- i5/OS コマンドが実行できるのであればどこでも起動可能
- EBCDIC/ASCII コードの相互変換 (シングルバイトの 10 言語に対応した変換テーブル)
- i5/OS からデスクトップへの転送時に便利な、PKSFX 自己抽出型 ZIP アーカイブファイルの生成
- 32 ビット CRC エラーチェックにより、ZIP ファイルの整合性を検証
- デバイスの自動検出
- 既定の動作設定がカスタマイズ可能
- QSYS ファイルシステム内の物理ファイル (PF-DTA)、ソースファイル (PF-SRC)、および SAVF ファイル、IFS、SAVF ストリームファイル、スプールファイルをサポート
- IFS のロングファイル名をサポート
- プログラムメッセージを、印刷出力やメッセージ待ち行列に出力可能
- コマンド・ライン・インタフェース
- 統合されたヘルプ機能

セキュリティ機能

- IBM i5/OS ソフトウェア暗号機能との統合 (V5R3 もしくはそれ以降が必要)
- パスフレーズ(パスワード)による保護
- RSA® BSAFE® 暗号化エンジンにより、AES (FIPS 197 準拠) と 3DES アルゴリズムによる、ファイルとファイル名の暗号化が可能

* 1Step2Tape 機能

- 単一ステップで直接テープにデータを移動し、転送時間を大幅に節約 (SAVF と ZIP 機能が単一ステップに統合)
- I/O と DASD リソースの大幅な節約
- ジョブステップ間でデータを移動させるための余分な I/O を削減

圧縮機能

- 1Step2Tape 機能(*) により、ディスクへの一時書き出しを行わず、単一ステップにて直接テープに書き出すことが可能
- ファイルサイズを最大 95% 縮小
- 9 エクサバイトを超える大規模サイズのアーカイブをサポート
- 複数の圧縮フォーマットをサポート
- GZIP 互換機能

エンタープライズ版

– スタンダード版に高度なセキュリティ機能をプラス

高度なセキュリティ機能

- PKI 環境と非 PKI 環境の両方をサポートし、デジタル証明書を使用する暗号化とパスフレーズによる暗号化の使い分けが可能
- 各種プラットフォーム上の SecureZIP によって暗号化、署名された ZIP ファイルに対して、復号化と認証が可能
- 秘密鍵は安全に格納
- ファイルのデジタル署名と署名の検証
- 証明書失効リスト(CRL)チェックにより、ファイルの署名と暗号化の有効性を検証

ディレクトリ統合機能

- デジタル証明書が格納されている Microsoft® Active Directory® や iPlanet™ などの LDAP 準拠ディレクトリへのアクセス
- 共通名またはメールアドレスを元に、暗号化に必要な受信者の公開鍵を LDAP 準拠ディレクトリから取得可能

システム最小要件

- V5R1M0 またはそれ以降

ピーケーウェア・ジャパン
株式会社

〒150-8512
東京都渋谷区桜丘町26-1
セルリアンタワー15階
Tel 03-5456-5599
Fax 03-5456-5511
E-mail info-jp@pkware.com
www.pkware.co.jp